

2026年4月24日

各位

会社名 株式会社デジタルプラス  
 住所 東京都渋谷区元代々木町30番13号  
 代表者名 代表取締役社長 菊池誠晃  
 (コード番号: 3691 東証グロース市場)  
 問い合わせ先 取締役 CFO 加藤涼  
 TEL. 03-5465-0690

## 2026年9月期第2四半期の事業進捗に関する動画公開のお知らせ

当社は、2026年9月期第2四半期の事業進捗に関する当社代表による説明動画を、下記のとおり公開いたしましたのでお知らせします。

### 1. 概要

ご説明動画 URL : <https://youtu.be/8zj33x2RJGA>

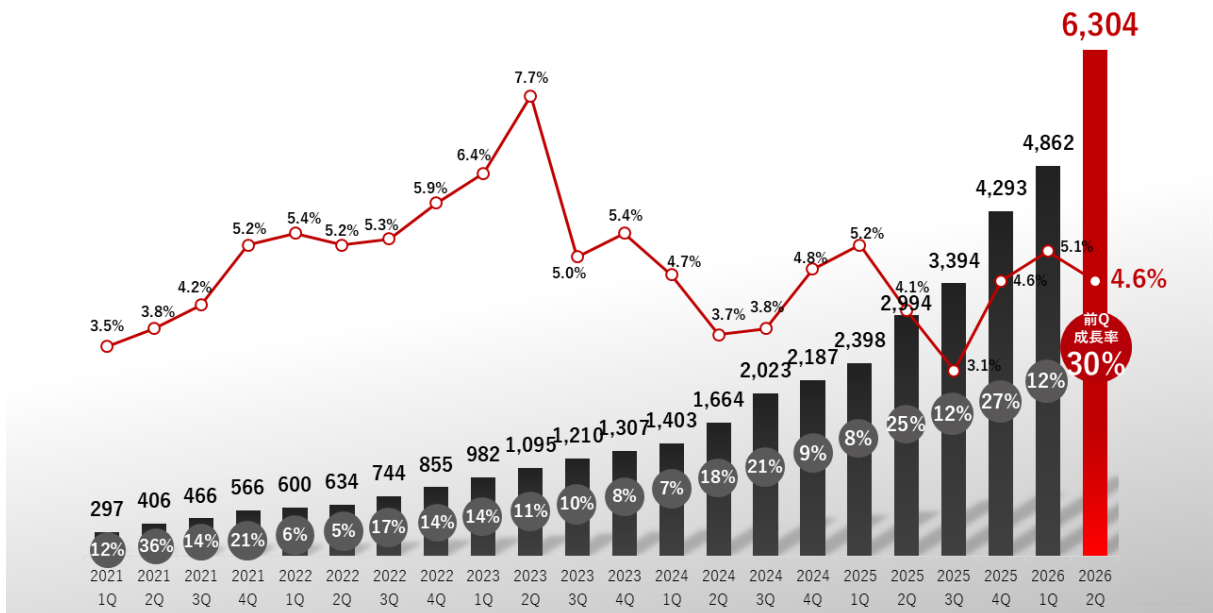
本動画では、当社代表取締役の菊池誠晃が回答しておりますので、ぜひご覧ください。

### 2. 当社代表による2026年9月期第2四半期の事業進捗に関するご説明

#### ① 流通総額の進捗

先日流通総額の速報値を公表しており、前四半期比30%増となる約63億円を着地しております。これにより、流通総額は24四半期連続成長となり、今期目標に向けて順調に進捗しております。

#### 流通総額24四半期連続成長・前四半期比30%増・年間250億円ベースを突破



## ② 中期目標および今期重要 KPI

当社は、2028 年に流通総額 1,000 億円の達成を目標としております。その実現に向け、今期は前期の倍となる流通総額 250 億円を計画しており、その中でも最重要 KPI として位置付けているのが、月間流通 35 億円の達成です。

流通総額の2026年9月期と中期目標



お金ではかなえられない毎日をつくっていく。

### 2028年9月期目標

流通総額 1,000億円 営業利益率 50%

達成  
見込み

### 中間目標 2026年9月

月間流通総額35億円(年間420億円ベース)

達成  
見込み

### 2026年9月期目標

流通総額250億円(前期比約2倍)

同水準は年間換算で 420 億円規模となり、流通粗利率 5%を前提とした場合、約 21 億円の粗利創出が見込まれます。販管費を約 10 億円と想定すると、営業利益は約 10 億円規模となる見通しです。このように、月間流通 35 億円は収益基盤の確立に直結する重要指標であることから、当社は当該 KPI の達成を最優先事項として取り組んでおります。

一方で、本 KPI はストレッチ目標であるため、達成を優先する過程において、流通粗利率は一時的に低下する見込みです。また、流通総額拡大に対応する基盤構築として、人材採用およびシステム投資を積極的に実施しております。

デジタルプラス 2028年流通総額1,000億円に向けた中間目標



### 中間目標 月間流通35億円

## 営業利益10億円

①月間流通総額35億円  
×12カ月(年間流通420億円)

2026年9月より前倒しを狙う

資金移動業対応デジタルウォレットの垂直立ち上げに向けた積極的先行投資を開始

②流通粗利率5%  
(流通粗利21億円)

月間流通35億円を最優先、流通粗利率を一時的に低下

これまで以上に徹底した流通総額拡大を優先  
資金移動業対応デジタルウォレットにおいては流通粗利率が初期時点では僅少想定  
デジタルギフト®は引き続き、投資回収フェーズ(5%前後)

③販管費10億円

流通総額拡大に向けた積極的先行投資

資金移動業の取得遅延2年を取り戻すべく、人材及び開発等の積極的先行投資、  
垂直立ち上げによる資金移動業の運用コストにより  
一時的に販管費が10億円を超える見通し。  
AIを含めた運用の仕組み化・最適化により最終的には10億円に落ち着く想定

### ③ ポイ活領域の進捗

累計2,400万ダウンロードを誇る「トリマ」との連携を開始しております。ポイ活領域は、安定的かつ積み上がり型の流通が見込まれる重要領域であり、今後も注力してまいります。

#### 【ポイ活領域】ポイ活サービスへの導入



累計2,400万DLの「トリマ」をはじめとする日本大手ポイ活サービスへの受取手段としての導入を推進



一部抜粋

5

### ④ 株主優待領域の進捗

株主優待領域においては、導入企業数が110社を超え、直近ではプライム市場を中心とした大手企業への展開が進んでおります。

#### 【株主優待領域】2028年導入企業500社・国内No.1を目指す



導入決定社数は110社を突破

今期は、時価総額500億円前後のプライム企業へ営業の対象範囲を拡大



6

## ⑤ 給付金領域の開拓

物価高対策に係る給付金において、デジタルギフト<sup>®</sup>が採用されました。

※なお、本件に関する詳細（実施主体や給付内容等）につきましては、関係各所の公表タイミングにあわせて、改めてお知らせする予定です。（6月後半頃を予定）

## ⑥ 大手企業への導入

日本航空株式会社様において、デジタルギフト<sup>®</sup>の提供を開始しております。現時点では国際線における機内サービスにおいて、希望される食事のご提供ができなかった場合等のお詫び金として活用されております。今後は、台風や大雪による欠航時の対応としての活用が予定されており、秋口以降の本格利用が見込まれております。

## ⑦ 2028年流通総額1,000億円に向けた戦略

当社は、2028年流通総額1,000億円の達成に向け、流通100億円規模の領域を10領域確立する方針としております。ポイ活、株主優待、給付金はその中核領域であり、引き続き横展開を進めてまいります。また、大規模案件においては、プロダクト品質および顧客体験のさらなる向上が求められるため、人材およびシステムへの投資を継続してまいります。

100億円規模×10領域で描く2028年流通1,000億戦略

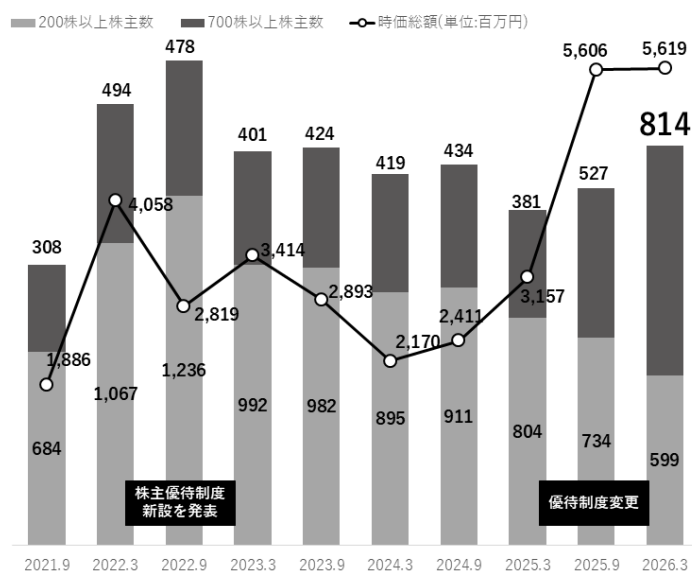


※各領域100億円規模は目標値であり、事業環境等により変動する可能性があります。

## ⑧ 当社株主優待制度の詳細

2026年3月末時点の株主名簿において、7単元以上保有の株主数は814名となっております。2026年3月までは3万円の優待を配布させていただきますが、2027年3月以降は総額3,000万円を株主の皆様で分配する方式へ移行いたします。これにより、現時点の試算では1名あたり約36,855円相当（※）の優待となり、従来水準を上回る還元となる見込みです。

※2026年3月末日の株主名簿を元に算出した金額であり、実際には2027年3月末日の株主数により変動



■700株以上株主数1.5倍に  
株主優待制度の変更により  
2025年9月末比1.5倍の814名に

■シェア型株主優待  
2027年3月末基準日より  
シェア型株主優待(3,000万円)へ  
2026年3月末日の株主名簿より  
株主様1人当たりの予定配布額は  
36,855円※になります

※2026年3月末日の株主名簿を元に算出した金額であり、実際には来年2027年3月末日の株主数により変動いたします。

10

⑨ 流通総額の見通しおよび今後について

足元の受注状況を踏まえ、今期目標である流通総額 250 億円および月間流通 35 億円は、いずれも達成見込みとなっております。また、これにより第 3 四半期における 25 四半期連続成長、続く 26 四半期連続成長も、現段階で既に見込まれている状況です。流通総額 1,000 億円に向けた進捗については、来月の決算説明資料にて改めてご説明を予定しております。引き続きご期待のほど、何卒よろしくお願いたします。

3. 本開示に関するお問い合わせ先

株式会社デジタルプラス IR 担当

メールアドレス：[ir@digital-plus.co.jp](mailto:ir@digital-plus.co.jp)

以上